
某ファストフードチェーンの真実

田中

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

某ファストフードチェーンの真実

【Nコード】

N3439T

【作者名】

田中

【あらすじ】

某ファストフードチェーンで働いていた山田。彼が見たものとは。

すべての始まり(前書き)

これが初投稿です。

すべての始まり

俺の名前は山田太郎だ。

俺はあるファストフードチェーンで働いていた。

そのファストフードチェーンの定番商品はフライドチキンだ。

俺はそのファストフードチェーン直営の養鶏場でバイトをしていたんだ。

そこで俺は恐ろしい体験をしたんだ。

ある日俺は残業をしていた。

建物内の掃除だ。

そして通路の掃除をしていたとき、通路の目立たないところに立ち入り禁止 と書かれている扉があった。

その時、なぜか俺の中で今までいだいたことのないくらい大きな好奇心が湧き上がるのをかんじたんだ。

おれは扉のなかに入ってみたくなった。

しかし、同時に入ってはいけないという思いもあった。しかし、好奇心には勝てず、俺は扉を開けた。

そして、自分の目を疑った。

そこには、四本足の鶏が大量にいた。

俺がその光景を見ていると、突然肩を叩かれた。

おれが、振り返ってみるとそこには、上司の久保田さんがいた。

上司の久保田

「見てしまったんだね。」

久保田さんはそう言った。

俺が言葉を返せずにいると、「見られたのなら、こっするしかないな。」と行って、上着の内ポケットから、銀色の物体を取り出した。それは、拳銃だった。

「君には死んでもらう。」

そういつて、久保田さんは拳銃を俺に向けた。

そして、引き金に指がかけられた。

しかし、俺は撃たれなかった。

なぜなら、久保田さんが肩を撃たれて倒れたから。

そして、久保田さんの後ろには、先輩の田中さんがいた。

先輩の田中

田中先輩は手に小型のサブマシンガンを持っていた。
多分スコープオンと呼ばれるものだろう。

ちなみに余談だが俺は俗に言うガンマニアというもので、こういうことには詳しいのだ。

田中先輩は久保田さんが落とした拳銃を拾い上げると、俺のところ
に駆け寄ってきた。

先輩「大丈夫か、怪我はないか。」

俺「これはどういうこと・・・」

先輩「驚かせてすまなかった。じつは俺は警視庁の潜入捜査官なん
だ。」

俺「どつりで・・・と、とにかくここを脱出しましょう。」

先輩「そうだな、証拠もとれた、ここにはもう用はない。」

そして、先輩は「持ってる、護身用だ。」といって、久保田さんが
持っていた拳銃を俺に渡してきた。」

「いいか、これはmk23という銃で弾が12発はいつている。」

先輩はそう言いながら俺に銃の使い方を見せてくれた。

そして、それが終わると、「それじゃあ行くぞ。」といって歩き出
したので、あわてて俺も先輩を追いかけた。

先輩の田中（後書き）

ご意見感想おまちしています。

すべての終わり（前書き）

これで最終回です。

すべての終わり

俺と田中さんは店内を駆け足で通っていった。途中で警備員に攻撃されたりもしたが、力づくで排除し、出口へと向かって行った。そしてついに出口に到達した。しかし、そこで思わぬ障害にぶちあたった。

なんと、社長が戦闘ヘリに乗って、俺たちに襲い掛かってきたのだ。俺と田中さんは必死に反撃したが、サブマシンガンとハンドガンでヘリに勝てるはずもなく、追い詰められていった。しかし、田中さんが近くにあった消火器をヘリのエンジンに投げ込んだことによつて、エンジンが破壊され、ヘリは墜落した。

俺たちは勝ったんだ。そして、例の情報が発表され、結局某ファストフードチェーンは倒産した。

そして、俺は田中さんにあこがれ、捜査官の訓練施設に入った。

すべての終わり（後書き）

これで某ファストフードチェーンの真実は終わりです。いまままでありがとつございまして。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3439t/>

某ファストフードチェーンの真実

2011年7月19日01時18分発行